

第3号議案

災害等扶助交付金の決定及び交付額決定通知書の通知について (案)

九州電力送配電株式会社より申請を受けた災害等扶助交付金の交付申請書に関して、業務規程第176条の13第1項の規定に基づき申請内容の精査を行い、業務規程第176条の13第2項の規定に基づき交付金額を決定し、交付対象者へ決定通知書を通知する。

1. 交付申請者

九州電力送配電株式会社

2. 申請件名 (案件番号)

- (1) 九州エリア台風9号による被害に対する仮復旧費用 (2021-6)
- (2) 九州エリア台風10号による被害に対する仮復旧費用 (2021-7)
- (3) 九州エリア令和2年7月豪雨による被害に対する仮復旧費用 (2021-8)

3. 申請受理日

2021年10月13日

4. 交付金額 (審査結果)

別紙1の審査結果に基づく

(1)	249,742,000円
(2)	754,364,000円
(3)	704,253,000円

(自己負担1割を除いた額)

5. 申請事業者への決定通知書

別紙2～4の通り

6. 交付金の支払い

4. の交付金額が、災害等扶助拠出金の積立残高を超えるため、業務規程第176条の14第2項の規定に基づき、積立残高を2022年1月末日に支払い、当該を超える金額は、2022年度分災害等扶助拠出金の納付完了の翌月末を以って交付する。

	交付金額	2021年1月末日 支払い額	2022年度分 災害等扶助拠出金の 納付完了の翌月末日 支払い額
台風9号	249,742,000円	249,742,000円	—
台風10号	754,364,000円	534,645,000円	219,719,000円
7月豪雨	704,253,000円	—	704,253,000円
合計	1,708,359,000円	784,387,000円	923,972,000円

以 上

【添付資料】

別紙1：災害等扶助交付金の申請内容及び審査結果について

別紙2：災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について（九州エリア台風9号による被害に対する仮復旧費用）

別紙3：災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について（九州エリア台風10号による被害に対する仮復旧費用）

別紙4：災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について（九州エリア令和2年7月豪雨による被害に対する仮復旧費用）

<参考>

（災害等扶助交付金の交付）

第176条の14 本機関は、前条第2項の規定により通知した金額を当該申請をした交付対象者に交付する。

2 前項の規定にかかわらず、本機関は、ある事業年度に交付する災害等扶助交付金の金額が災害等扶助拠出金の積立残高を超える場合においては、当該超える金額は、翌事業年度以降に納付される災害等扶助拠出金をもって、翌事業年度以降に交付対象者に交付する。

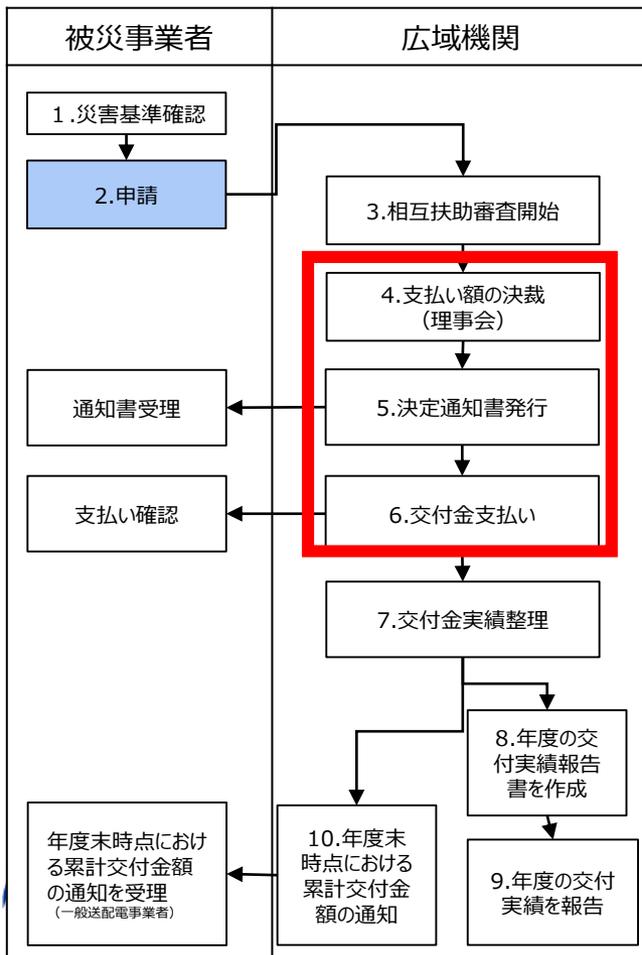
災害等扶助交付金の申請内容及び審査結果

1. 九州エリア**台風9号**による被害に対する仮復旧費用
2. 九州エリア**台風10号**による被害に対する仮復旧費用
3. 九州エリア**令和2年7月豪雨**による被害に対する災害等復旧費用

災害等扶助交付金の申請内容について

- 九州送配電（株）より、表題3件に関する災害等扶助交付金の申請があった。
（申請書類の不備等を確認の上、10/13付で3件に受理済）
- 本機関にて申請内容について審査を行った結果を以って、本理事会にて**交付額を決定**し、九州送配電（株）に対して**交付額の決定通知書の発行及び交付金支払いを行う**こととしたい。

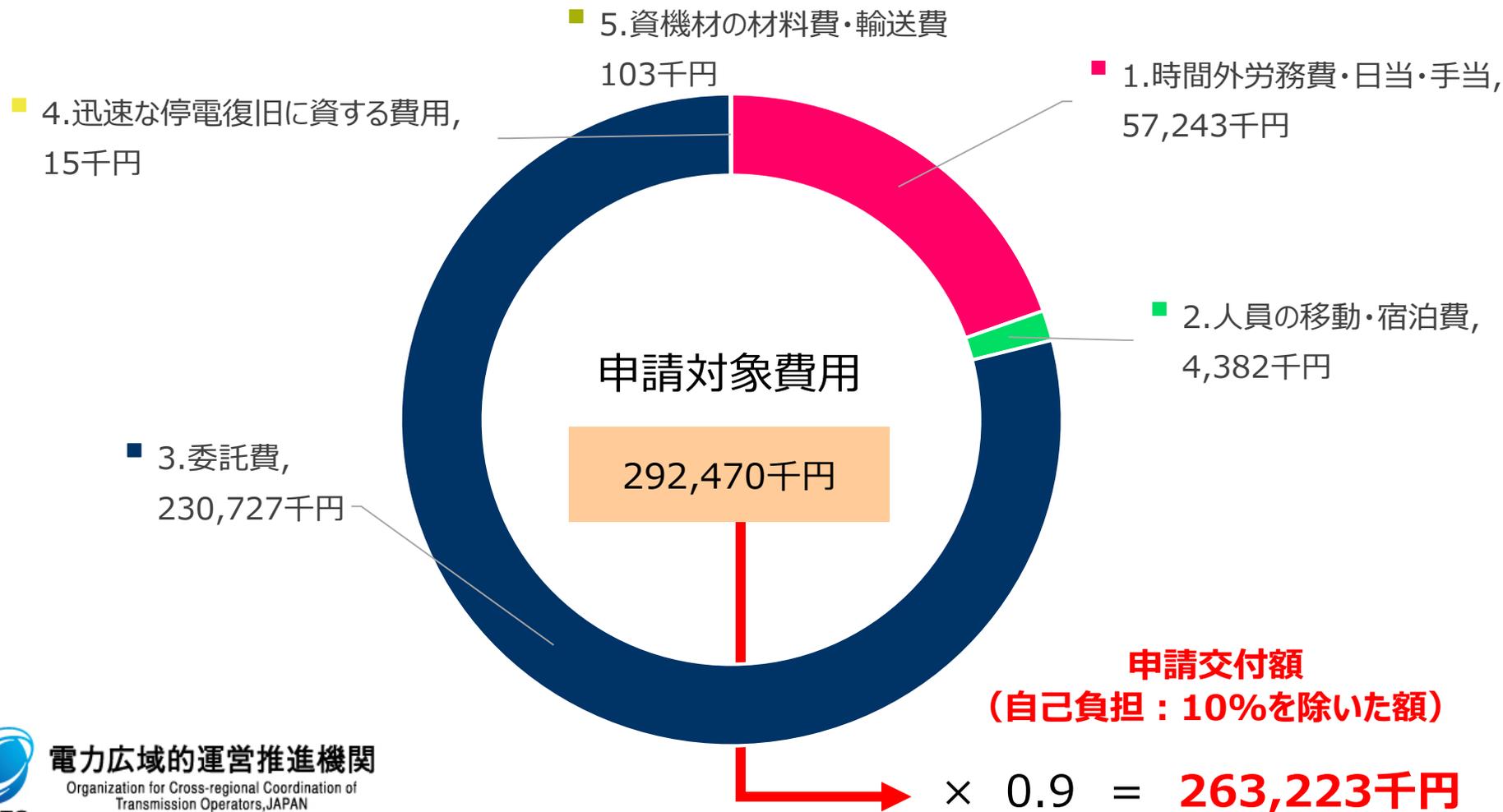
<申請交付に係る業務フロー>



<今回申請内容>

	停電発生日 (下段：99%停電解消日)	該当する災害要件	最大停電件数	申請交付金（自己負担額控除後）
台風9号	2020/9/1 (2020/9/4)	【発災直後】 停電戸数10万戸を超過	約14万 7千戸	263,223,000円
台風10号	2020/9/6 (2020/9/8)	【発災直後】 停電戸数10万戸を超過 最大風速40m/s以上を 観測 1時間降水量80mm/h 以上を観測	約47万 6千戸	754,633,000円
令和2年 7月豪雨	2020/7/4 (2020/7/22)	【発災前】 大雨特別警報発令 【発災直後】 1時間降水量80mm/h 以上を観測	約1万 2千戸	705,214,000円
合計				1,723,070,000円

- 広範にわたり被害が発生したことに伴い、時間外労務費の対象として、延べ3,000名超が復旧対応にあたった。
- 申請金額の約8割が仮復旧工事に係る委託費となっており、その大半は配電工事であるが、停電の早期復旧/停電拡大防止のための送変電工事も一部含まれている。
- なお、他電力からの応援はなかった。



- 審査の結果、2件の査定を除き、申請金額及び証憑等に問題点はないことを確認した。
- 本申請案件に係る**交付額**について、**249,742,000円**で決定する。

	申請対象費用	審査結果	主な審査（査定）理由等
1.時間外労務費・日当	57,242,973円	57,224,019円	重複申請による（1件）
2.人員の移動・宿泊費	4,381,563円	4,381,563円	
3.委託費	230,726,881円	215,766,881円	申請金額誤り（1件）
4.迅速な停電復旧に資する費用	15,400円	15,400円	
5.資機材の材料費・輸送費	103,400円	103,400円	
合計	292,470,217円	277,491,263円	

×
0.9
(10%は自己負担)

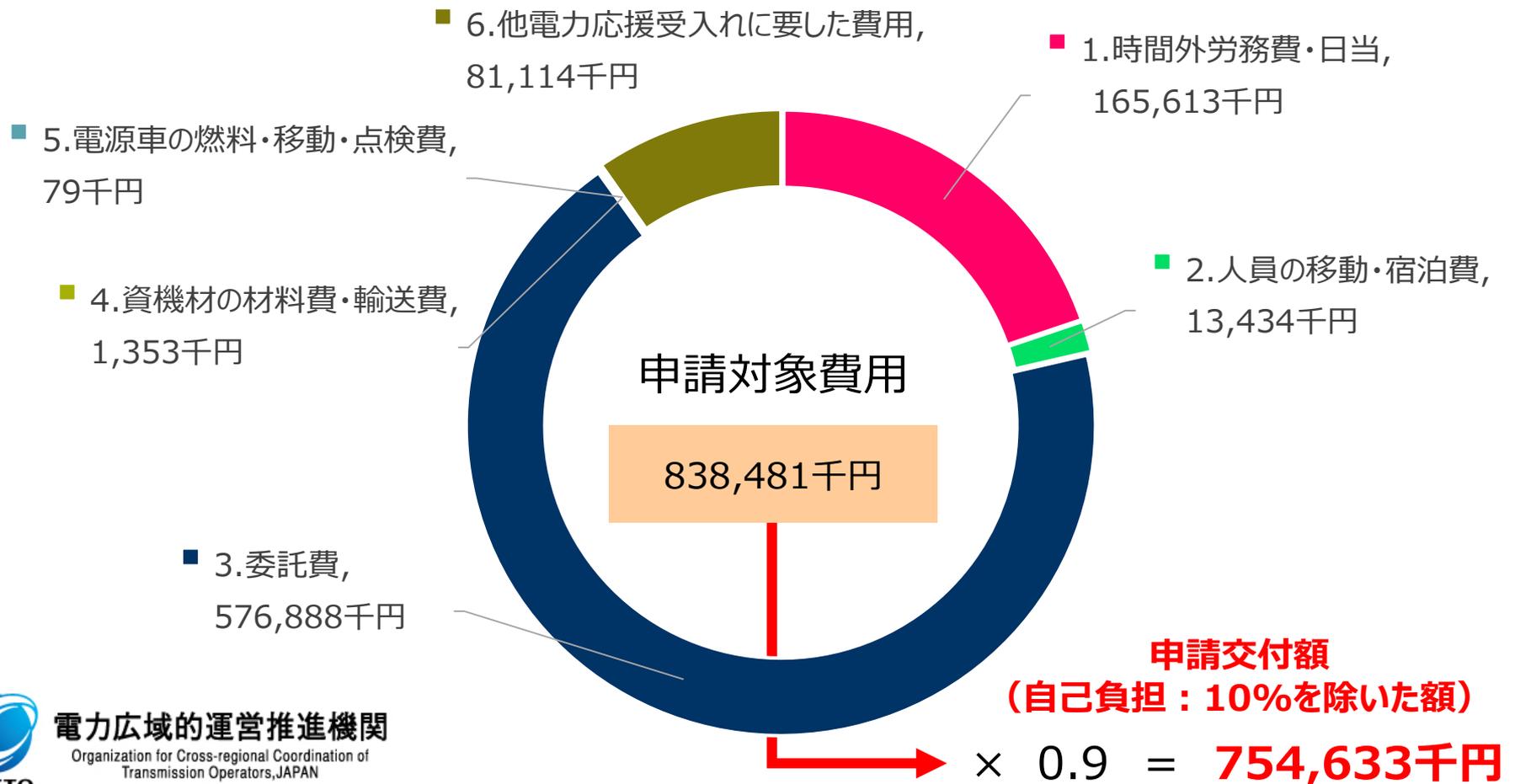


×
0.9
(10%は自己負担)



*申請交付額	*交付額 (審査の上決定)
263,223,000円	249,742,000円

- 広範にわたり被害は発生したことに伴い、時間外労務費の対象として、延べ7,000名弱が復旧対応にあたった。
- 申請金額の約7割が仮復旧工事に係る委託費となっており、その大半は配電工事であるが、停電の早期復旧/停電拡大防止のための送変電工事も一部含まれている。
- また、本台風は接近前に大規模の被害が想定されたことから、一般送配電事業者6社に事前応援要請を行い、災害対応にあたった（復旧要員362名、高圧電源車53台の応援派遣）。



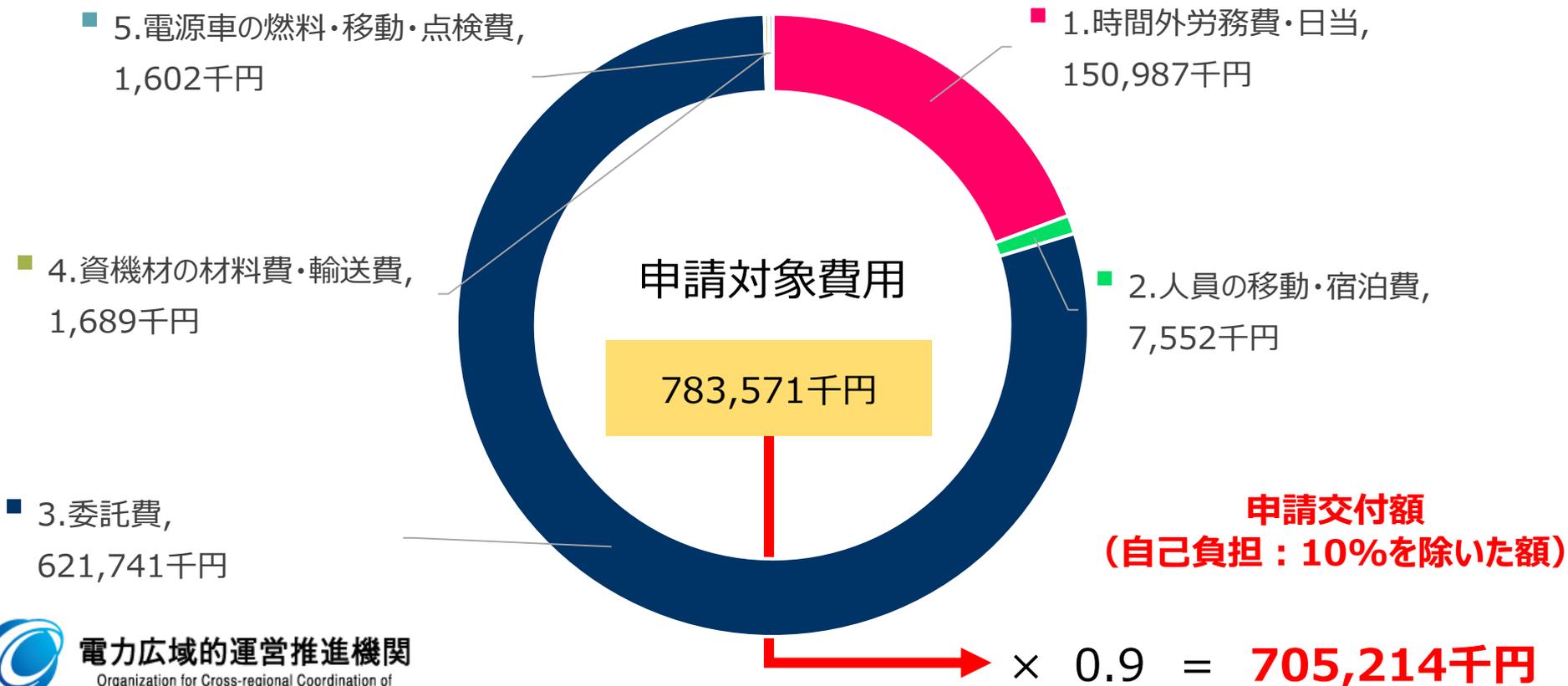
- 審査の結果、10件の査定を除き、申請金額及び証憑等に問題点はないことを確認した。
- 本申請案件に係る**交付額**について、**754,364,000円**で決定する。

	申請対象費用	審査結果	主な審査（査定）理由等
1.時間外労務費・日当	165,613,372円	165,613,372円	
2.人員の移動・宿泊費	13,434,347円	13,237,645円	申請金額誤り・交付対象外の件名申請分（8件）
3.委託費	576,888,172円	576,785,212円	申請金額誤り（2件）
4.資機材の材料費・輸送費	1,352,812円	1,352,812円	
5.電源車の燃料費	78,540円	78,540円	
6.応援事業者分	81,114,102円	81,114,102円	
合計	838,481,345円	838,181,683円	

× 0.9 (10%は自己負担) × 0.9 (10%は自己負担)

*申請交付額	*交付額 (審査の上決定)
754,633,000円	754,364,000円

- 広範にわたり被害は発生したことに伴い、時間外労務費の対象として、延べ6,500名程度が復旧対応にあたった。
- 全体の約8割が仮復旧工事に係る委託費となっており、その大半は配電工事であるが、豪雨による土砂崩れや浸水にかかる発送変電設備の仮復旧工事が多く含まれている。
⇒河川の氾濫や冠水が多くみられたこともあり、99%停電復旧までに約20日弱の期間を要した。
(そのため、停電規模に対して、相対的に申請金額が大きくなっている)
- なお、他電力からの応援はなかった。



- 審査の結果、2件の査定を除き、申請金額及び証憑等に問題点はないことを確認した。
- 本申請案件に係る**交付額**について、**704,253,000円**で決定する。

	申請対象費用	審査結果	主な審査（査定）理由等
1.時間外労務費・日当	150,986,717円	150,986,717円	
2.人員の移動・宿泊費	7,551,736円	7,551,736円	
3.委託費	621,740,631円	620,688,597円	日割り計算誤り（1件）
4.資機材の材料費・輸送費	1,689,266円	1,674,478円	交付対象外の件名申請分（1件）
5.電源車等の燃料・移動・点検費	1,602,254円	1,602,254円	
合計	783,570,604円	782,503,782円	

×
0.9
(10%は自己負担)

×
0.9
(10%は自己負担)

*申請交付額	*交付額 (審査の上決定)
705,214,000円	704,253,000円

- 速やかに**交付額の決定通知書**を発行し、**交付対象者へ通知**する。
- **今回の交付決定額は、災害等扶助拠出金の積立残高を超えるため、業務規程176条の14第2項の規定に基づき、以下の通り支払うこととする。**
 - ・積立残高分：2022年1月末日（本理事会決議の翌月末日）に支払い
 - ・残る金額：2022年度分災害等扶助拠出金の納入完了の翌月末日を以って、別途支払い

	交付額 (今回決定)
台風9号 (九州電力送配電)	249,742,000円
台風10号 (九州電力送配電)	754,364,000円
7月豪雨 (九州電力送配電)	704,253,000円
計	1,708,359,000円

⇒ ⇒ ⇒ ⇒

(1) 2021/1月末日 支払い額	(2) 2022年度分 災害等扶助拠出金の 納入完了の翌月末日支払い額
【積立残高：784,387,000円】	
249,742,000円	—
534,645,000円	219,719,000円
—	704,253,000円
784,387,000円	923,972,000円

<参考> 現在の申請状況および拠出金残高について

- 今回の交付金の支払いにより、積立残高は『0円』となる（翌年度繰越額：923,972,000円）。
- なお、年度末にかけて、2021年度分災害分として8件が申請予定。

<審査終了>

申請者	件名	受理日	理事会 付議日	支払い前 積立残高(a)	交付決定額(b)	振込額 (a)を超える額は 翌年度交付	翌年度 振込額
沖縄電力	2020年台風8号の被害に対する災害 等復旧費用の相互扶助交付金	7/16	8/4	990,000,000	572,000	572,000	
沖縄電力	2020年台風9号の被害に対する災害 等復旧費用の相互扶助交付金	7/16	8/4	989,428,000	114,695,000	114,695,000	
沖縄電力	2020年台風10号の被害に対する災害 等復旧費用の相互扶助交付金	7/16	8/4	874,733,000	30,204,000	30,204,000	
中部電力 P G	2020年7月豪雨の被害に対する災害 等復旧費用	10/11	11/4	844,529,000	35,939,000	35,939,000	
東北電力 NW	福島沖地震による被害に対する災害等 復旧費用	10/11	11/4	808,590,000	24,203,000	24,203,000	
九州電送配電	九州エリア台風9号による被害に対する 仮復旧費用	10/13	12/15	784,387,000	249,742,000	249,742,000	
九州電送配電	九州エリア台風10号による被害に対する 仮復旧費用	10/13	12/15	534,645,000	754,364,000	534,645,000	219,719,000
九州電送配電	九州エリア令和2年7月豪雨による被害 に対する仮復旧費用	10/13	12/15	0	704,253,000	0	704,253,000

+

<2021年度災害分>

7-8月に西日本で発生した豪雨、沖縄地方を襲った台風につき、現時点で計8件程度の申請を予定

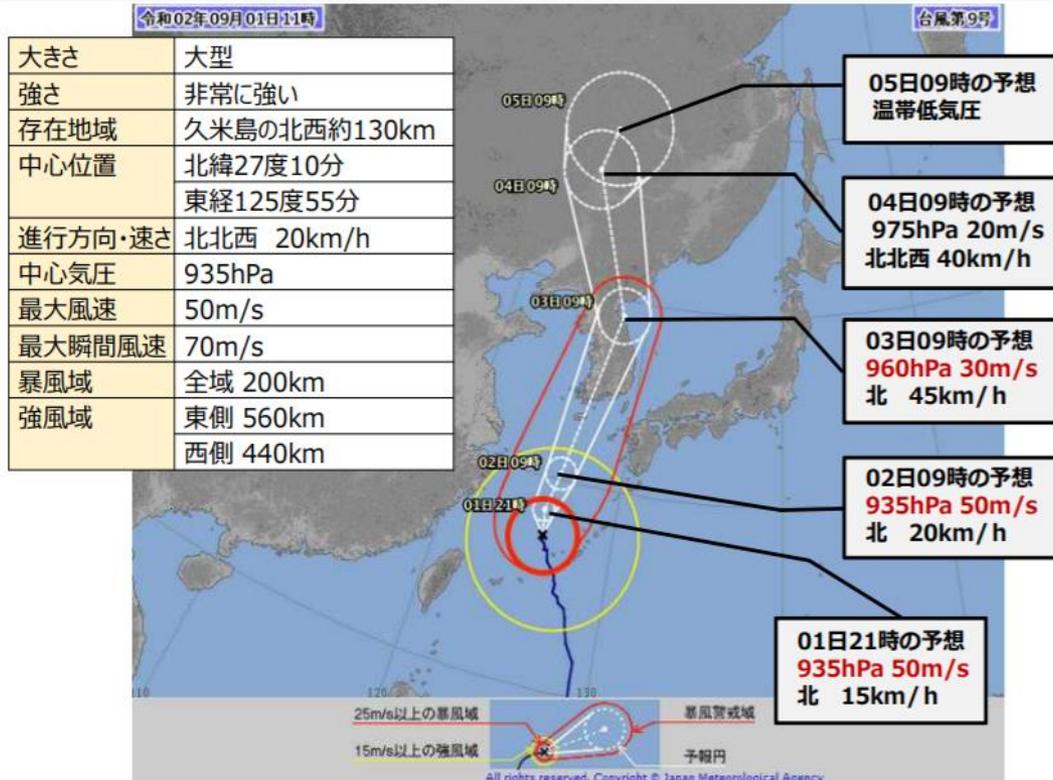
【補足資料】

1. 九州エリア**台風9号**による被害に対する仮復旧費用 (九州電力送配電株式会社)

項目	内容						
1. 件名	九州エリア台風9号による被害に対する仮復旧費用						
2. 災害要件	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停電戸数10万戸を超過 (9/3 0時) <table border="1" data-bbox="527 362 1818 876"> <thead> <tr> <th data-bbox="527 362 730 408">判断タイミング</th> <th data-bbox="730 362 1818 408">災害基準要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="527 408 730 596">発災前</td> <td data-bbox="730 408 1818 596"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(台風) 非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・(災害共通) 大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="527 596 730 876">発災直後</td> <td data-bbox="730 596 1818 876"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> </tr> </tbody> </table>	判断タイミング	災害基準要件	発災前	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(台風) 非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・(災害共通) 大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合
判断タイミング	災害基準要件						
発災前	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(台風) 非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・(災害共通) 大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 						
発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 						
3. 被害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・停電発生日時 : 2020年9月1日(火) 8時 ・最大停電日時、戸数 : 2020年9月3日 1時、約14万7千戸 ・損害設備状況 : 配電設備 支持物(転倒・傾斜) 25本 電線(断混線他) 1,144条径間 ・仮復旧終了扱い日時点の停電戸数 : 90戸 (99%停電解消となる基準戸数 : 1,470戸) 						
4. 仮復旧終了日(扱い日)	2020年9月4日 19時						
5. 申請交付金額 (自己負担一割を除いた額)	263,223,000円						

- 2020年8月28日にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は、同日15時に台風9号となって西向きに進み、8月31日には沖縄本島の南西海上で950hPaの大型で非常に強い台風となった。
- 勢力を強めながら北上して久米島に接近したのち、9月1日9時には935hPa、最大瞬間風速70m/sと非常に強い勢力を保ちながら9月2日九州：五島列島に接近して九州北西部に大きな被害をもたらした。その後東シナ海を北上し朝鮮半島、中国本土に上陸、9月3日15時ごろに温帯低気圧に変わった。

台風第9号の進路予報 (1日11時現在)



■ 以下により、交付対象となる災害基準要件（発災直後の停電戸数10万戸）を満たしていることを確認した。（九州電力送配電資料より）

幹事社の御了解をいただいてFAXしております。
福岡経済記者クラブ各位



2020年9月3日
九州電力株式会社
九州電力送配電株式会社

【情報 No.11】

台風9号に伴う停電状況のお知らせ

—0時00分現在 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県で
約117,360戸が停電しています—

台風9号に伴い、2020年9月3日(木)0時現在、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県で約117,360戸が停電し、大変ご迷惑をおかけしております。
現在、非常災害対策組織を設置し、早期復旧に向けて取り組んでいます。

[各県の停電状況]

行政区	高圧配電線			備考
	総戸数 (戸)	停電戸数 (戸)	停電率 (%)	
福岡県	3,282,340	470	0.1	暴風通過後の現場確認に向けて出動待機中
佐賀県	513,550	2,160	0.4	暴風通過後の現場確認に向けて出動待機中
長崎県	912,260	114,170	12.5	暴風通過後の現場確認に向けて出動待機中
熊本県	1,134,400	550	0.1	暴風通過後の現場確認に向けて出動待機中
合計	8,552,380	117,360	1.4	

※ 戸数は10戸単位に四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります

詳細な停電情報

・行政区（市区町村）毎の停電状況（停電戸数、停電率）、復旧見込み等については、下記URLの当社ホームページに掲載しています。

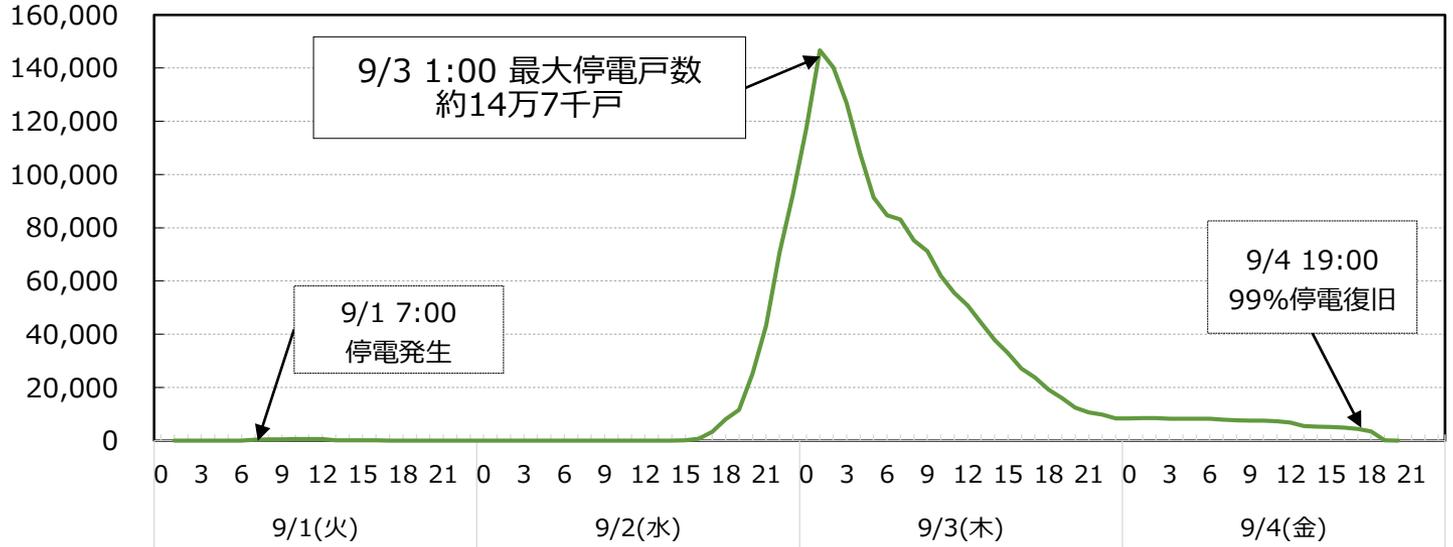
【PC版】https://www.kyuden.co.jp/td_index.html

【携帯版】http://kyuden.jp/tddb_index.html

以上

1. 対象となる申請案件の概要 ～停電状況及び交付金対象期間～

停電件数の推移



時間外 日当	事前準備に係る申請	設備復旧対応業務、本部運営業務、リエゾン対応など
宿泊 旅費	上記対応に資する申請	
直接工事 (資機材)	該当なし	
委託費	仮/本 区分可	該当なし
	仮/本 区分不可	事前要員派遣
		配電設備復旧対応、伐採工事、巡視など

2. 審査結果 ①時間外労務費・日当等

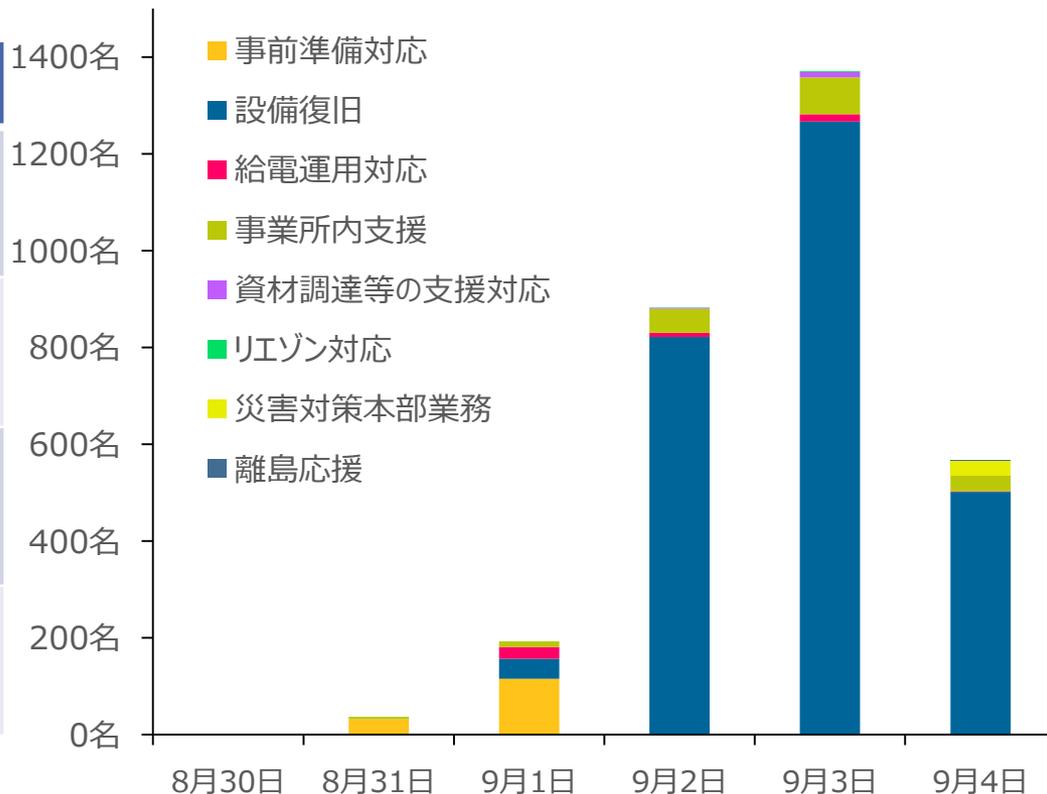
- 時間外労務費の対象として、延べ3,053名の方が対応に当たった。
(設備復旧対応、事業者内支援、リエゾン対応、離島への事前準備対応等)
- 申請している作業内容が適切か、時間外単価/日当及び各種手当が当該会社の各種規程に基づき適切に計算されているか、申請期間が「仮復旧対象期間（～99%停電復旧日まで）」を逸脱していないか等について審査し、1件の重複申請を除き問題ないことを確認した。

<①時間外労務費・日当の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
時間外労務費	55,565	55,546	19
日当	1,503	1,503	0
その他手当 (作業手当と 宿泊手当)	175	175	0
計	57,243	57,224	19

<作業内容及び対応人数（日別）>



2. 審査結果 ②人員の移動・宿泊費

- 事前対応から停電復旧までを通じて約320人が宿泊対応を行った（停電ピーク日：約120人/日）。
- 対象となる旅費及びその他費用が証憑と整合しているか、宿泊費が当該会社の各種規程や証憑と整合しているか等について審査し、問題ないことを確認した。

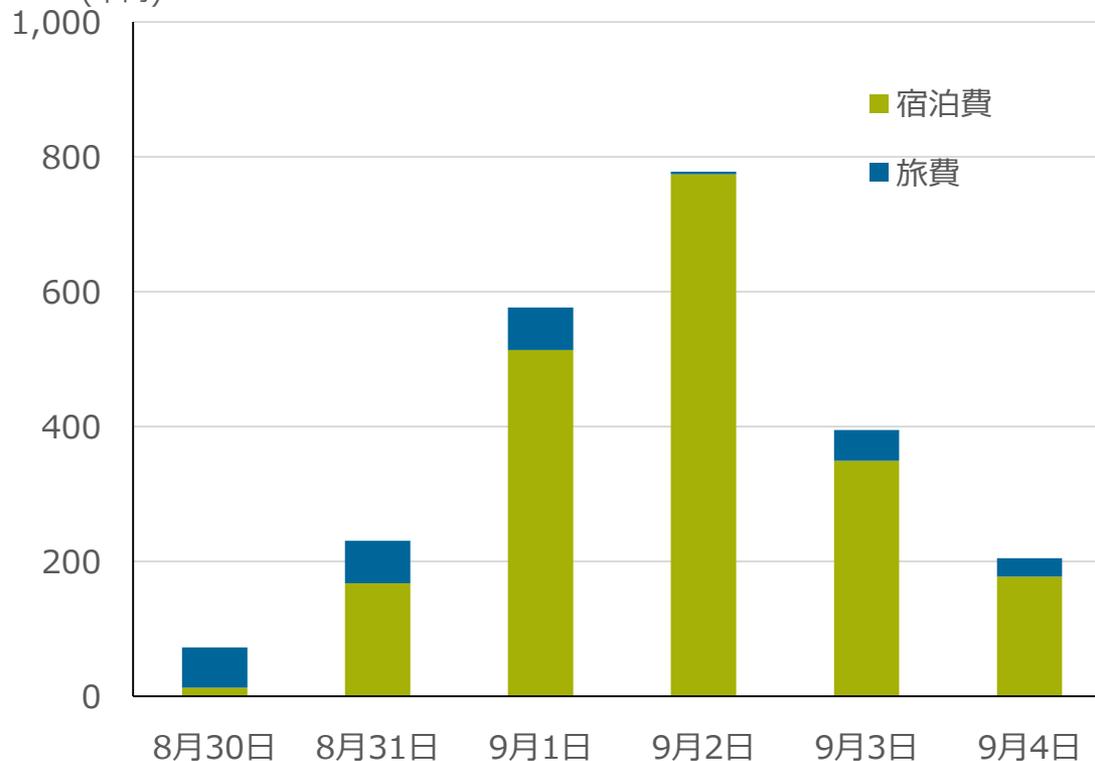
<②人員の移動・宿泊費及びその他費用の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
旅費	204	204	0
宿泊費	1,993	1,993	0
その他費用 (レンタカー、 レンタル布団 等)	2,185	2,185	0
計	4,382	4,382	0

<旅費・宿泊費の内訳>

(千円)



2. 審査結果 ③委託費、④迅速な停電復旧に資する費用、⑤資機材の材料費・輸送費 18

- 委託費は計192件の内、大半は配電設備支障及び巡視/伐採工事であったが、停電の早期復旧/停電拡大防止のための送変電/通信設備の対応も行っている。
- 委託業務範囲/工事内容や証憑及び申請金額（日割計算等）等について審査し、委託契約1件の申請金額の誤りを除き、問題ないことを確認した。

<③委託費の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
送変電	16,857	16,857	0
発電	0	0	0
配電	169,876	154,916	14,960
その他伐採/巡視	43,994	43,994	0
計	230,727	215,767	14,960

<④迅速な停電復旧に資する費用の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
高所作業車使用料	15	15	0
計	15	15	0

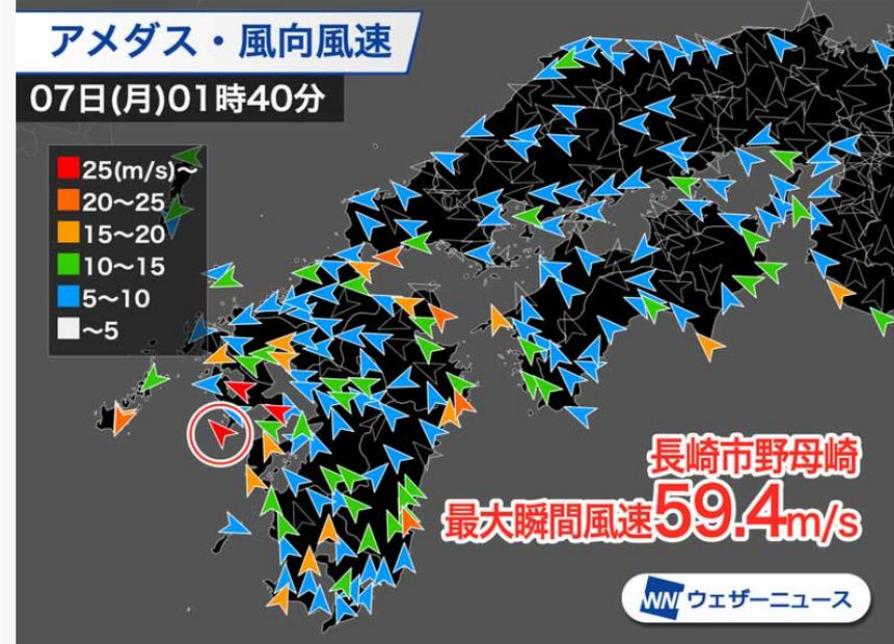
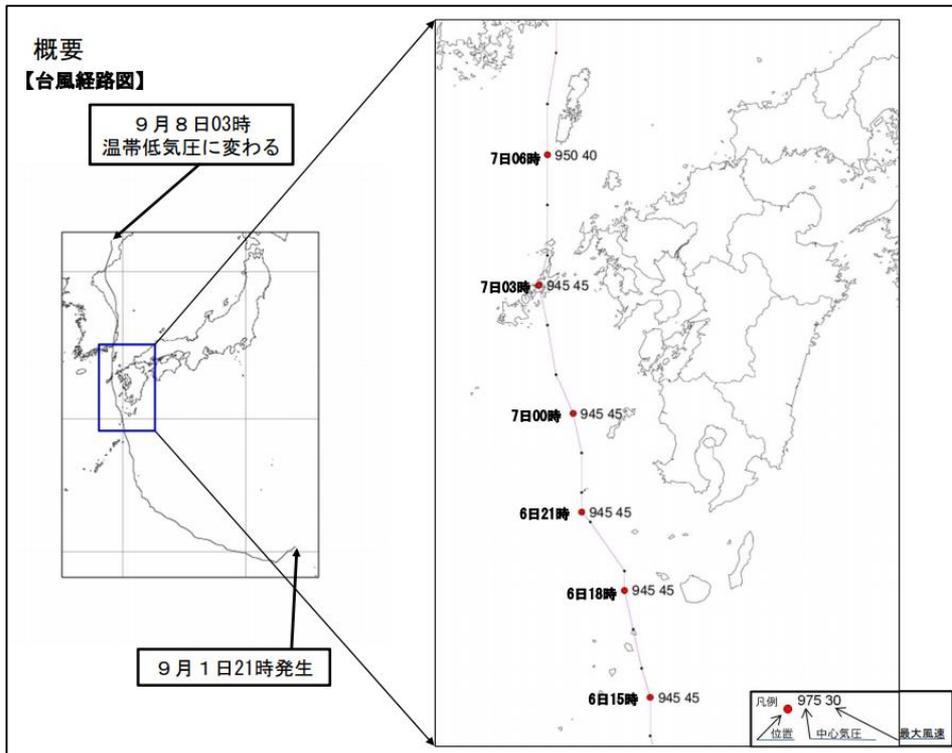
<⑤資機材の材料費・輸送費>

項目	申請対象費用	審査額	差異
資機材の輸送費	103	103	0
計	103	103	0

2. 九州エリア**台風10号**による被害に対する仮復旧費用 (九州電力送配電株式会社)

項目	内容						
1. 件名	九州エリア台風10号による被害に対する仮復旧費用						
2. 災害要件	<p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月6日20時、停電戸数10(万戸)を超過 ・最大風速40(mm/s)以上を観測 (長崎県：野母崎) ・1時間降水量80(mm/h)以上を観測 (長崎県：福江・上大津) <table border="1" data-bbox="523 439 1816 953"> <thead> <tr> <th data-bbox="523 439 726 482">判断タイミング</th> <th data-bbox="726 439 1816 482">災害基準要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="523 482 726 672">発災前</td> <td data-bbox="726 482 1816 672"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(台風) 非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・(災害共通) 大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="523 672 726 953">発災直後</td> <td data-bbox="726 672 1816 953"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> </tr> </tbody> </table>	判断タイミング	災害基準要件	発災前	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(台風) 非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・(災害共通) 大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合
判断タイミング	災害基準要件						
発災前	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(台風) 非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・(災害共通) 大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 						
発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・(災害共通) 停電軒数(戸数) 10万以上 ・(台風・豪雨) 最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・(台風・豪雨) 1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・(地震) 最大震度6弱以上を観測した場合 ・(災害共通) 国や電力広域機関からの要請があった場合 						
3. 被害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・停電発生日時 : 2020年9月6日(日) 1時 ・最大停電日時、戸数 : 2020年9月7日(月) 6時00分、約47万6千戸 ・損害設備状況 : 【配電】 支持物(折損他) : 163本、電線(断混線他) : 4,705条径間 【送電】 電線 : 2箇所(断線)、1箇所(損傷) ・仮復旧終了扱い日時点の停電戸数 : 4.5千戸 (99%停電解消となる基準戸数 : 4.76千戸) 						
4. 仮復旧終了日(扱い日)	2020年9月8日						
5. 申請交付金額 (自己負担一割を除いた額)	754,633,000円						

- 9月1日に小笠原近海で発生した台風第10号は、発達しながら日本の南を北西へ進み、4日に非常に強い勢力となり、勢力を維持したまま、6日夜に屋久島の西海上付近、7日明け方に五島付近を通過し、7日朝鮮半島に上陸し温帯低気圧となった。
- 9月7日(月)1時現在、台風10号(ハイシェン)は大型で非常に強い勢力を維持したまま九州の西を北上して、九州のほぼ全域が風速25m/s以上の暴風域に入り、長崎県長崎市の野母崎では、1時45分に最大瞬間風速59.4m/sの猛烈な風を観測しました。



《ウェザーニュースより抜粋》
<https://weathernews.jp/s/topics/202009/070005/>

<福岡管区气象台発表
 「令和2年台風第10号による
 9月6日から7日にかけての
 福岡県の気象状況について」抜粋>

■ 以下により、交付対象となる災害基準要件（発災直後の最大風速40mm/s以上観測と1時間降水量が80mm以上観測）を満たしていることを確認した。（気象庁の資料より）

9月1日21時に小笠原近海で発生した台風第10号は、発達しながら日本の南を西北西に進み、5日から6日にかけて大型で非常に強い勢力で沖縄地方に接近した。その後、勢力を維持したまま北上し、6日から7日にかけて大型で非常に強い勢力で奄美地方から九州に接近した後、朝鮮半島に上陸し、8日3時に中国東北区で温帯低気圧に変わった。

台風第10号の接近に伴い、南西諸島や九州を中心に暴風、大雨、高波、高潮となった。

（詳細：P37）

風については、長崎県野母崎で最大風速44.2メートル、最大瞬間風速59.4メートルとなり、南西諸島や九州を中心に猛烈な風または非常に強い風を観測し、観測史上1位の値を超えるなど、記録的な暴風となった。

雨については、宮崎県神門で4日から7日までの総降水量が599.0ミリとなり、宮崎県の4地点で24時間降水量が400ミリを超えたほか、台風の中心から離れた西日本や東日本の太平洋側で24時間降水量が200ミリを超える大雨となった。

波については、鹿児島県屋久島で波高10.4メートルの高波が観測されるなど、南西諸島や九州で猛烈なしけとなった。

高潮については、鹿児島県奄美で潮位が216センチとなり、警報基準（190センチ）を超える値が観測された。

この暴風や大雨の影響で、人的被害や住家被害が発生した。また、飛来物や倒木により高圧線断線等が発生し、南西諸島や九州を中心に広い範囲で停電が発生した。

（被害に関する情報は令和2年9月8日内閣府とりまとめ等による。）

長崎県

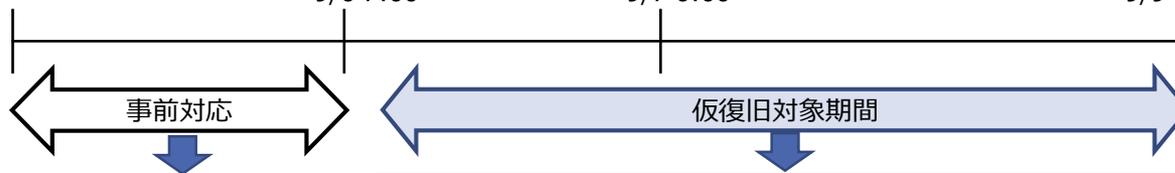
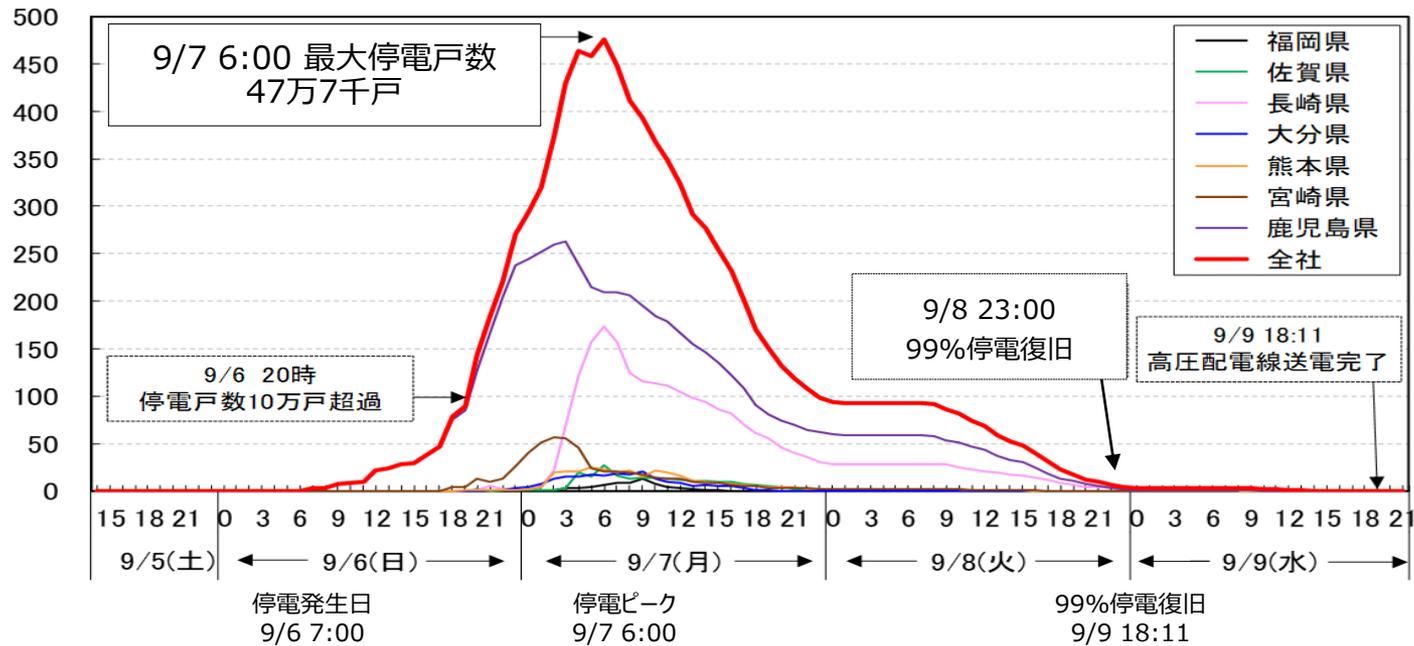
長崎県福江（9月7日2時）
1時間降水量80mm/hを観測

時	気圧(hPa)		降水量(mm)	気温(°C)	露点温度(°C)	蒸気圧(hPa)	湿度(%)	風向・風速(m/s)		日照時間(h)	全日射量(MJ/m²)	雪(cm)		天気	雲量	視程(km)
	観地	海面						風速	風向			降雪	積雪			
1	958.3	961.2	25.5	24.9	24.4	30.6	97	14.1	北北東					●		1.08
2	948.8	951.7	87.5	24.6	24.6	39.9	100	15.8	北					●		0.68
3	951.3	954.2	10.5	25.4	24.9	31.5	97	10.5	北西					●		3.94
4	963.7	966.6	0.0	25.9	24.5	30.8	92	12.0	西南西					●		5.16
5	973.5	976.5	0.0	25.1	23.9	29.6	93	9.8	西南西					●		3.31
6	990.0	993.0	7.0	22.9	21.9	26.3	94	9.7	西南西					●		2.97
7	984.8	987.8	6.0	23.2	21.8	26.2	92	9.1	西南西	0.0				●		5.51
8	987.2	990.2	2.5	23.4	22.7	27.6	96	5.9	南西	0.0				●		3.46
9	989.9	992.9	1.5	23.2	22.0	26.5	93	6.7	南西	0.0				●		3.63
10	992.1	995.1	2.0	23.9	21.8	26.1	88	7.4	南西	0.0				●		10.2
11	994.0	997.0	0.5	24.2	21.5	25.7	85	7.5	南西	0.1				●		14.5
12	995.5	998.5	0.5	24.8	21.9	26.3	84	8.0	南西	0.2				●		17.9
13	997.2	1000.2	0.0	25.4	21.5	25.6	79	8.3	南西	0.2				●		14.1
14	998.6	1001.6	0.0	26.6	22.0	26.5	76	5.8	南西	0.5				☁		20.0
15	999.8	1002.8	--	26.8	22.0	26.4	75	5.7	南西	0.7				☁		17.2
16	1000.9	1003.9	--	26.6	21.4	25.4	73	5.6	西南西	0.8				☁		20.0
17	1002.2	1005.2	--	25.9	21.4	25.4	76	4.4	西南西	0.7				☁		20.0
18	1003.3	1006.3	--	25.3	21.0	24.8	77	3.4	西南西	0.6				☁		20.0
19	1004.1	1007.2	--	24.8	21.5	25.7	82	3.7	南西	0.0				☁		20.0
20	1005.1	1008.2	--	24.7	21.4	25.6	82	2.9	南西	0.0				☁		16.2
21	1005.9	1009.0	--	24.4	21.5	25.7	84	2.2	西南西	0.0				☁		14.1
22	1006.4	1009.5	--	24.3	21.2	25.2	83	2.4	西南西	0.0				☁		15.0
23	1006.9	1010.0	--	23.8	21.1	25.1	85	1.8	西南西	0.0				☁		14.0
24	1007.2	1010.3	--	23.5	21.2	25.2	87	1.3	西南西	0.0				☁		13.0

《気象庁：災害をもたらした気象事例より抜粋》

《気象庁：各種データ・資料、過去の気象データ検索より抜粋》

停電件数の推移



時間外 日当	事前準備に係る申請	設備復旧対応業務、本部運営業務、リエゾン対応など	
宿泊 旅費	上記対応に資する申請		
直接工事 (資機材)	該当なし	鉄塔敷地防護	
委託費	仮/本 区分可	該当なし	電線断線に伴う仮電線接続
	仮/本 区分不可	事前要員派遣	配電設備復旧対応、伐採工事、巡視など

2. 審査結果 ①時間外労務費・日当等

- 時間外労務費の対象として、延べ6,888名の方が対応に当たった。
(設備復旧対応、事業者内支援、リエゾン対応等)
- 申請している作業内容が適切か、時間外単価/日当及び各種手当が当該会社の各種規程に基づき適切に計算されているか、申請期間が「仮復旧対象期間（～99%停電復旧日まで）」を逸脱していないか等について審査し、申請金額及び証憑に問題ないことを確認した。

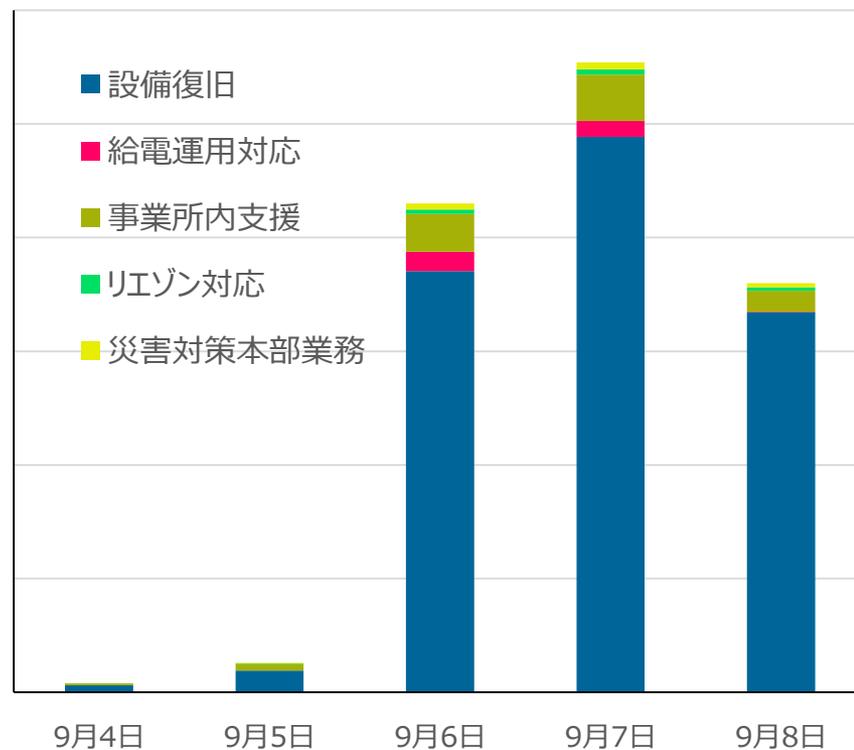
<①時間外労務費・日当の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
時間外労務費	161,302	161,302	0
日当	3,637	3,637	0
その他手当 (呼出し手当) (作業手当)	674	674	0
計	165,613	165,613	0

<作業内容及び対応人数（日別）>

3000名
2500名
2000名
1500名
1000名
500名
0名



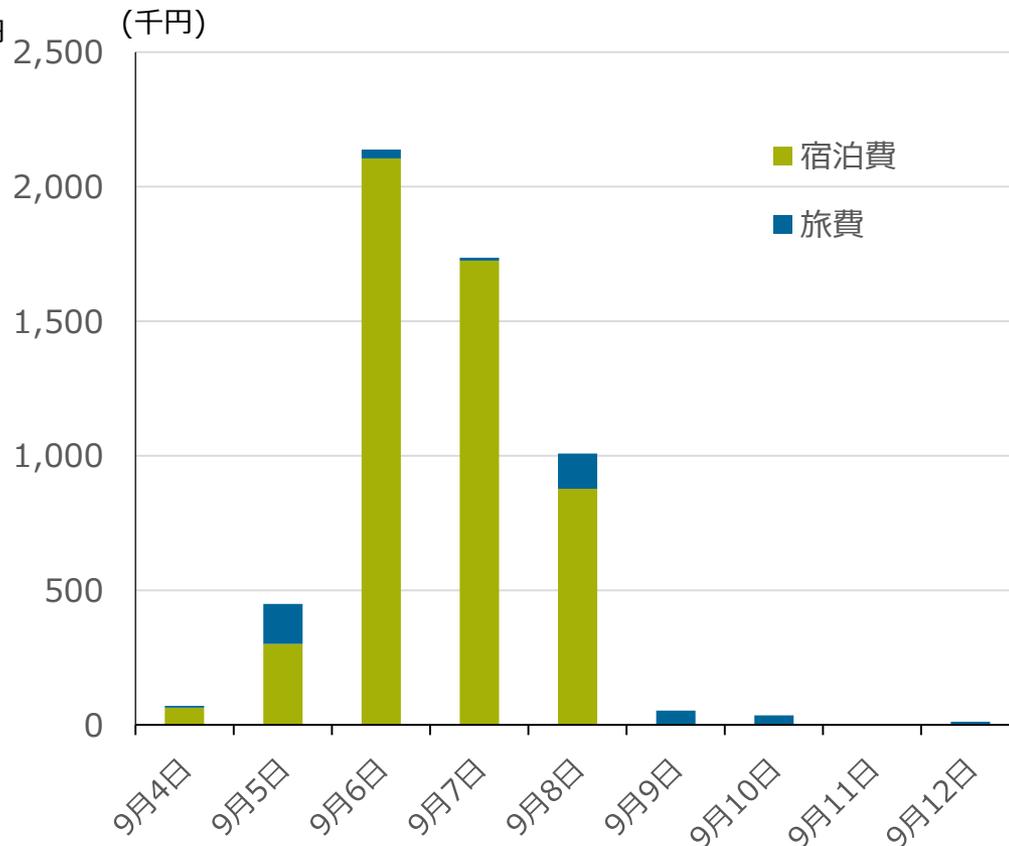
2. 審査結果 ②人員の移動・宿泊費

- 事前対応から停電復旧までを通じて約810人が宿泊対応を行った（ピーク日：約320人/日）。
- 対象となる旅費及びその他費用が証憑と整合しているか、宿泊費が当該会社の各種規程や証憑と整合しているか等について審査し、8件（重複申請/申請金額誤り）を除き、問題ないことを確認した。

<②人員の移動・宿泊費の内訳>

項目	申請対象費用	審査額	差異
旅費	435	428	7
宿泊費	5,070	5,070	0
その他費用 (レンタカー、 レンタル布団 等)	7,929	7,740	189
計	13,434	13,238	196

<旅費・宿泊費の日別>



2. 審査結果 ③委託費

- 委託費は計418件の内、大半は配電設備支障及び巡視/伐採工事であったが、停電の早期復旧/停電拡大防止のための送変電/通信設備の対応も行っている。
- 委託業務範囲/工事内容や証憑及び申請金額（日割計算等）等について審査し、委託契約2件の申請金額の誤りを除き、問題ないことを確認した。

<③委託費の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
送変電	60,536	60,536	0
発電	0	0	0
配電	499,794	499,794	0
その他 (伐採・巡視等)	16,558	16,455	103
計	576,888	576,785	103

(2 停電状況および設備被害状況)

4

(2) 設備被害状況

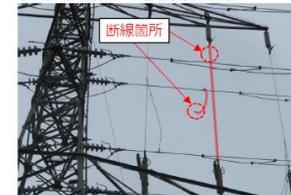
設備	被害内容
配電	支持物：163本（折損他）、電線：4,705条径間（断混線他）
送電	電線：2箇所（断線）、1箇所（損傷）
通信	光ケーブル：5条（断線）

鹿児島（さつま町）：支持物の折損



倒木による支持物折損

長崎（長崎市）：接続線の断線



断線箇所

熊本（天草市）：電線の断混線



倒木伐採後

宮崎（椎葉村）：土砂崩れ



電柱倒壊、流出範囲

Copyright (c) KYUSHU ELECTRIC POWER TRANSMISSION AND DISTRIBUTION CO., INC. All Rights Reserved.

2020年12月24日電力レジリエンスワーキンググループ（第12回）
資料3より抜粋

- 資機材の交付対象は、連携計画の仮復旧手順にある資機材及び工法を基本としながら、それ以外の手順によるものは、仮復旧に該当するか説明を求めている。
- 申請された工事内容（送電鉄塔の倒壊防止のための仮復旧資材）が停電拡大の未然防止に直接寄与することを確認したうえで、その費用が証憑と整合しているか等について審査し、問題ないことを確認した。

＜④資機材の材料費・輸送費の内訳＞ 単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
仮復旧に必要な機器リース代	801	801	0
輸送費	44	44	0
※資機材	508	508	0
計	1,353	1,353	0

＜⑤電源車等の燃料・移動の内訳＞ 単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
電源車燃料費	79	79	0

※仮復旧を行った工法及び資機材（直工）

工法	適用個所数	使用した資機材	用途	単価	個数	金額 (税込み)
鉄塔敷地防護	1	ブルーシート一式	鉄塔敷地ブルーシート敷設	¥508,200	1個	¥508,200

2. 審査結果 ⑥応援事業者分

- 特別警報級の予想を受けた九州電力送配電（株）からの要請により、接近1～2日前に関西以東の6社より、復旧要員362名、高圧電源車53台の応援派遣が行われた。
- 応援にかかった費用は応援事業者からの請求額全額を承認することを前提に、応援内容や証憑及び申請金額等について審査し、問題ないことを確認した。

<⑥応援事業者分の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
北海道電力ネットワーク(株)	9,099	9,099	0
東北電力ネットワーク(株)	10,166	10,116	0
東京電力パワーグリッド(株)	10,267	10,267	0
中部電力パワーグリッド(株)	23,259	23,259	0
北陸電力送配電(株)	16,379	16,379	0
関西電力送配電(株)	11,944	11,944	0
計	81,114	81,114	0

(4 復旧対応)

9

(3) 他社からの応援受入れ

- 甚大な被害発生の可能性を考慮し、台風の影響がないと見込まれた関西以東の6社に対し応援要請を行い、復旧要員と高圧発電機車の応援を受入れ*

※ 想定より被害が少なく、自社のみで復旧対応が可能であったため、他社の実働はないまま応援受入れを解除

【各社からの応援状況】

	応援内容	
	復旧要員	高圧発電機車
北海道	32名	7台
東北	70名	8台
東京	44名	10台
中部	104名	10台
北陸※	76名	8台
関西	36名	10台
合計	362名	53台

※一部に工事会社社員を含む

Copyright (c) KYUSHU ELECTRIC POWER TRANSMISSION AND DISTRIBUTION CO., INC. All Rights Reserved.

2020年12月24日電力レジリエンスワーキンググループ（第12回）
資料3より抜粋

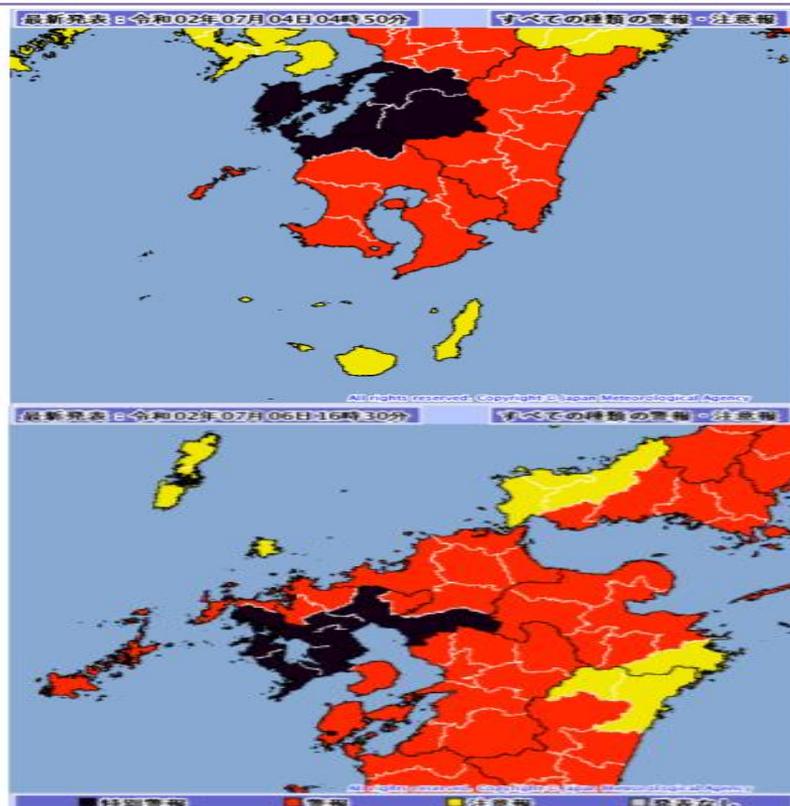
3. 九州エリア**令和2年7月豪雨**による被害に対する
災害等復旧費用
(九州電力送配電株式会社)

項目	内容						
1. 件名	九州エリア令和2年7月豪雨による被害に対する災害等復旧費用						
2. 災害要件	<p>(発災前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月4日4時50分に大雨特別警報が発令（熊本県、鹿児島県） <p>(発災直後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1時間降水量80(mm/h)以上を観測（計5地点） <table border="1" data-bbox="529 439 1823 953"> <thead> <tr> <th data-bbox="529 439 730 482">判断タイミング</th> <th data-bbox="730 439 1823 482">災害基準要件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="529 482 730 672">発災前</td> <td data-bbox="730 482 1823 672"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・（台風）非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・（災害共通）大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・（災害共通）国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="529 672 730 953">発災直後</td> <td data-bbox="730 672 1823 953"> <ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・（災害共通）停電軒数（戸数）10万以上 ・（台風・豪雨）最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・（台風・豪雨）1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・（地震）最大震度6弱以上を観測した場合 ・（災害共通）国や電力広域機関からの要請があった場合 </td> </tr> </tbody> </table>	判断タイミング	災害基準要件	発災前	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・（台風）非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・（災害共通）大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・（災害共通）国や電力広域機関からの要請があった場合 	発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・（災害共通）停電軒数（戸数）10万以上 ・（台風・豪雨）最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・（台風・豪雨）1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・（地震）最大震度6弱以上を観測した場合 ・（災害共通）国や電力広域機関からの要請があった場合
判断タイミング	災害基準要件						
発災前	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・（台風）非常に強いまたは猛烈な台風について、48時間先までの予想進路に電力供給エリアが入る場合 ・（災害共通）大雨特別警報、暴風特別警報等の各種特別警報が発表された場合 ・（災害共通）国や電力広域機関からの要請があった場合 						
発災直後	<ul style="list-style-type: none"> ●電力供給エリアにおいて、以下のいずれかに該当する場合 ・（災害共通）停電軒数（戸数）10万以上 ・（台風・豪雨）最大風速*40m/s以上が観測された場合 *最大風速：10分間平均風速の最大値 ・（台風・豪雨）1時間降水量が80mm以上を観測した場合 ・（地震）最大震度6弱以上を観測した場合 ・（災害共通）国や電力広域機関からの要請があった場合 						
3. 被害状況	<ul style="list-style-type: none"> ・停電発生日時：2020年7月4日（土） ・最大停電日時、戸数：2020年7月6日14時00分、1万2千戸 ・損害設備状況：配電設備 支持物(流出・折損他) 454本 電線(断混線他) 1,300条径間 変電所の冠水等 4変電所 ・仮復旧終了扱い日時点の停電戸数：0.12千戸 (99%停電解消となる基準戸数：0.12千戸) 						
4. 仮復旧終了日（扱い日）	2020年7月22日						
5. 申請交付金額 (自己負担一割を除いた額)	705,214,000円						

1. 対象となる申請案件の災害概要 ～7月豪雨の概要～

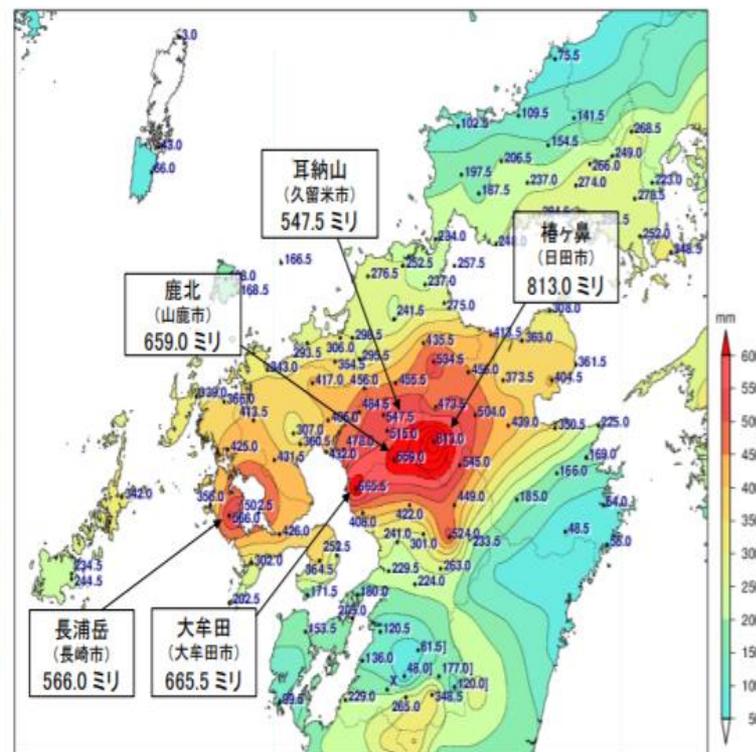
- 7月3日から8日にかけて梅雨前線が華中から九州付近を通って東日本にのびてほとんど停滞し、前線の活動が非常に活発だったため特に九州では4日から7日は記録的な大雨となった。
- 九州南部、九州北部地方など多くの地点で24、48、72時間降水量が観測史上1位の値を超える猛烈な雨や非常に激しい雨にみまわれ、球磨川、筑後川といった大河川での反乱が相次いだほか、土砂災害、低地の浸水等により、多くの人的被害や物的被害が発生した。

特別警報・警報の発表状況



アメダス総降水量の分布図(7月6日～8日09時)

地点名	総雨量 (単位:ミリ)
梧ヶ鼻	813.0
大牟田	665.5
鹿北	659.0
長浦岳	566.0
耳納山	547.5
南小国	545.0
英彦山	534.5
南阿蘇	524.0
黒木	515.0
玖珠	504.0
大村	502.5
久留米	484.5
柳川	478.0
日田	473.5
耶馬溪	456.0
鳥栖	456.0
朝倉	455.5
阿蘇乙姫	449.0
湯布院	439.0
添田	435.5



- 以下により、交付対象となる災害基準要件（発災前の大雨特別警報）を満たしていることを確認した。
（気象庁発表：九州電力送配電提供資料より）

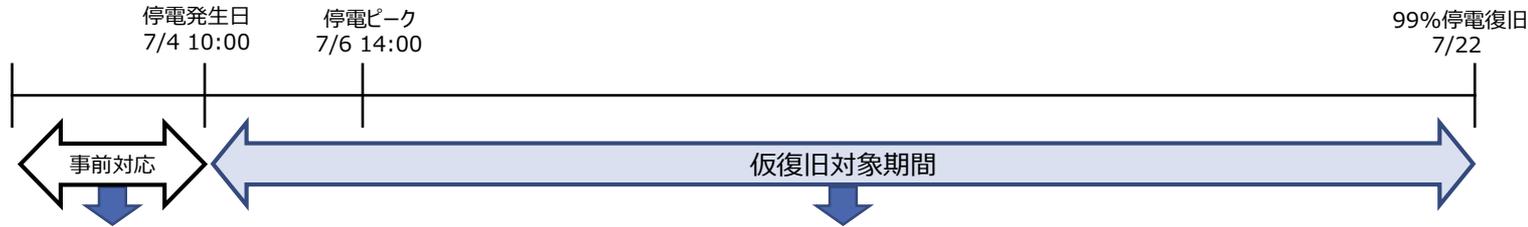
【大雨の状況】

4日未明から朝にかけて県の南部を中心に局地的に猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、芦北町付近では3時20分に約110ミリの猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報を発表した。その後も天草市、芦北町、津奈木町、人吉市、あさぎり町、球磨村、八代市付近で1時間に約110ミリから120ミリ以上の猛烈な雨を解析し、記録的短時間大雨情報を発表した。また、4日4時50分に天草・芦北地方、球磨地方、宇城八代に大雨特別警報を発表した。この大雨特別警報は4日11時50分にすべて警報に切り替えた。

【大雨の状況】

7月2日18時から降り始めた雨は、3日昼前から断続的に激しい雨となり、3日夜には薩摩半島の西海上で発達した雨雲が線状に連なり東進、薩摩、大隅地方を中心に大雨となった。解析雨量では、3日19時30分までの1時間に薩摩川内市甕島付近で約100ミリの猛烈な雨となり、薩摩川内市甕島で3日20時30分までの3時間積算解析雨量が50年に一度の値となった。その後、薩摩地方や大隅地方に、土砂災害警戒情報を発表（指宿・川辺、錦江町、南大隅町を除く）して、土砂災害に嚴重な警戒を呼びかけた。そして、4日04時50分、鹿児島地方気象台はこれまでに経験したことの内容な大雨となっているとして長島町、出水市、阿久根市、伊佐市に大雨特別警報（土砂災害）、長島町に大雨特別警報（浸水害）を発表して、最大級の警戒を呼びかけた。

停電件数の推移



時間外 日当	該当なし	設備復旧対応業務、本部運営業務、リエゾン対応など
宿泊 旅費	該当なし	上記対応に資する申請
直接工事 (資機材)	該当なし	資機材 (排水ポンプ) による浸水仮復旧、資機材 (ブルーシート) による鉄塔敷地仮復旧
委託費	仮/本 区分可	鉄塔敷地防護、土砂崩壊に伴う電柱支線仮復旧
	仮/本 区分不可	配電設備復旧対応、伐採工事、巡視など

2. 審査結果 ①時間外労務費・日当等

- 時間外労務費の対象として、延べ6,498名の方が対応に当たった。
(設備復旧対応、事業者内支援、リエゾン対応等)
- 申請している作業内容が適切か、時間外単価/日当及び各種手当が当該会社の各種規程に基づき適切に計算されているか、申請期間が「仮復旧対象期間（～99%停電復旧日まで）」を逸脱していないか等について審査し、申請金額及び証憑に問題ないことを確認した。

<①時間外労務費・日当の内訳>

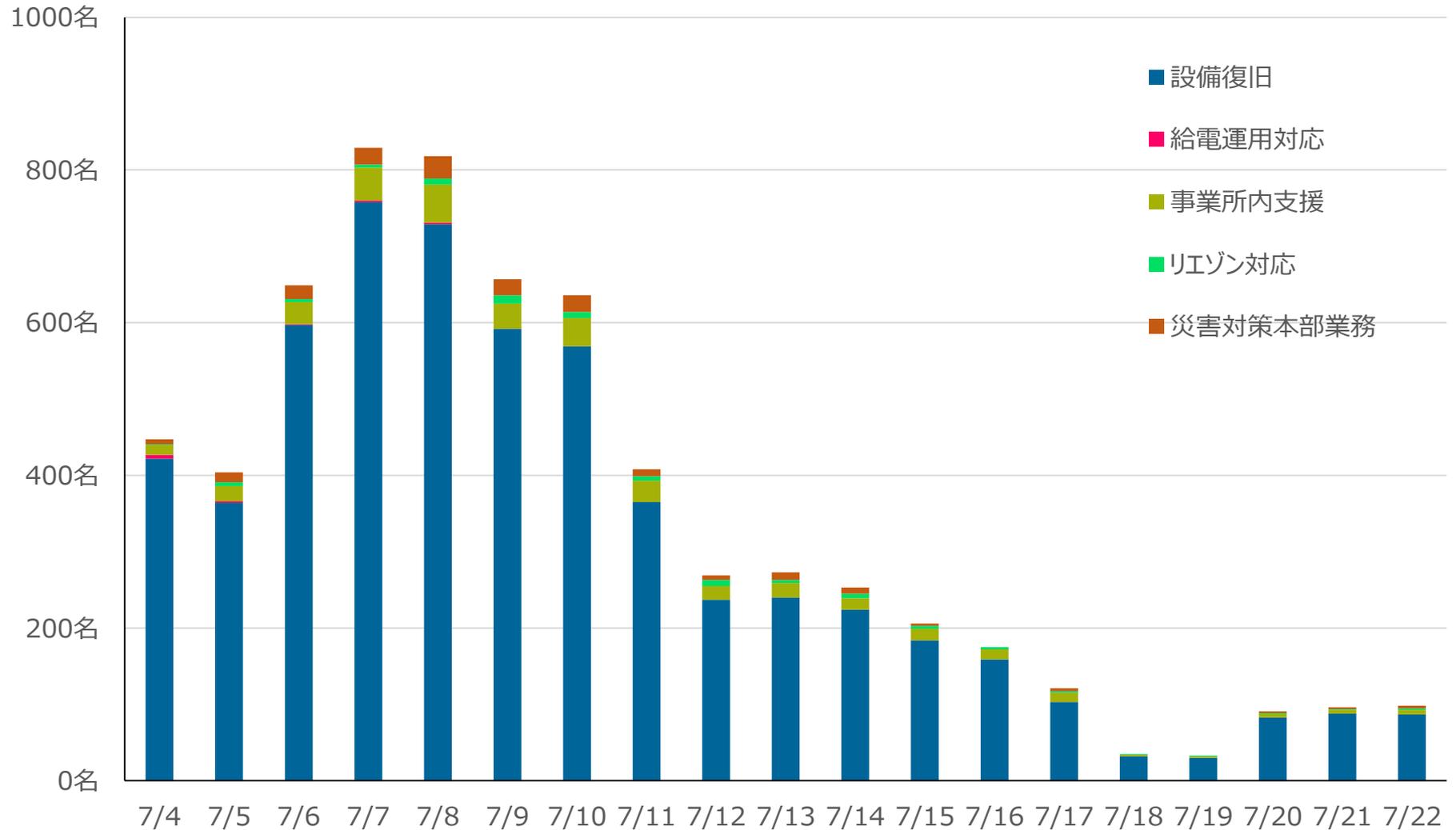
単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
時間外労務費	143,266	143,266	0
日当	6,991	6,991	0
その他手当 (呼出し手当) (作業手当)	729	729	0
計	150,987	150,987	0

<作業内容及び対応人数（日別）>

次ページ参照

<作業内容及び対応人数（日別）>



2. 審査結果 ②人員の移動・宿泊費

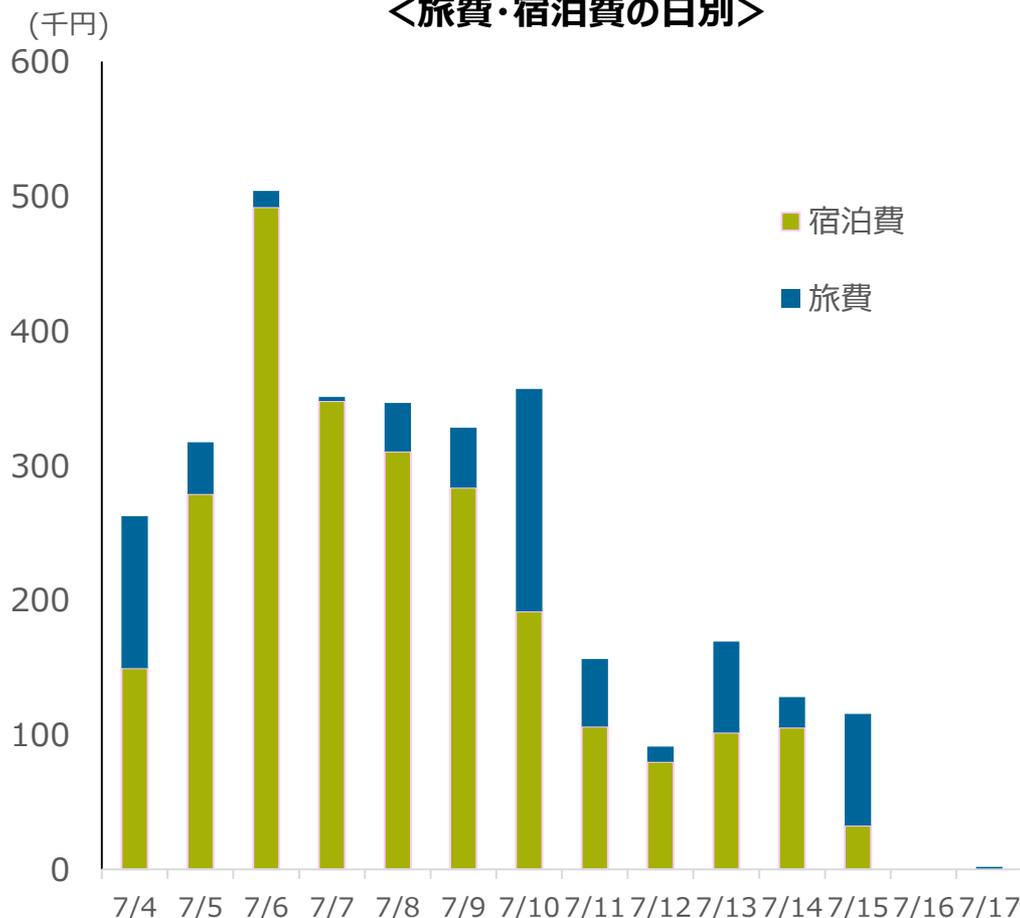
- 事前対応から停電復旧までを通じて約380人が宿泊対応を行った（ピーク日：約80人/日）。
- 対象となる旅費及びその他費用が証憑と整合しているか、宿泊費が当該会社の各種規程や証憑と整合しているか等について審査し、問題ないことを確認した。

<②人員の移動・宿泊費の内訳>

項目	申請対象費用	審査額	差異
旅費	649	649	0
宿泊費	2,479	2,479	0
その他費用	4,424	4,424	0
計	7,552	7,552	0

単位：千円

<旅費・宿泊費の日別>



2. 審査結果 ③委託費

- 委託費は計182件の内、委託工事の大半は配電設備支障によるものであるが、豪雨による土砂崩れや浸水にかかる発送変電設備の仮復旧工事が多く含まれている。また、河川の氾濫や冠水が多くみられたこともあり、99%停電復旧までに約20日弱の期間を要したことから、停電規模に対して他の災害よりも委託金額が相対的に大きくなっている。
- 委託業務範囲/工事内容や証憑及び申請金額（日割計算等）等について審査し、委託契約1件の申請金額の誤りを除き、問題ないことを確認した。

<⑤委託費の内訳>

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
送変電	134,812	134,812	0
発電	1,048	1,048	0
配電	478,057	477,004	1,053
その他 (伐採・巡視等)	7,824	7,824	0
計	621,741	620,688	1,053

- 資機材の交付対象は、連携計画の仮復旧手順にある資機材及び工法を基本としながら、それ以外の手順によるものは、仮復旧に該当するか説明を求めている。
- 申請された工事内容（制御盤室浸水による仮設排水ポンプでの屋外排水及び送電鉄塔の倒壊防止のための仮復旧資材）が停電の早期復旧／停電拡大の未然防止に直接寄与することを確認したうえで、その費用（復旧後、資産が備品として残るものを除く）が証憑と整合しているか等について審査し、問題ないことを確認した。

＜④資機材の材料費・輸送費の内訳＞

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
仮復旧に必要な資材・機器リース代	273	273	0
その他費用	28	28	0
※資機材	1,388	1,388	0
計	1,689	1,689	0

＜⑤電源車等の燃料・移動の内訳＞

単位：千円

項目	申請対象費用	審査額	差異
電源車燃料費 (点検・軽油缶等含む)	1,602	1,602	0

※仮復旧を行った工法及び資機材（直工）

No.	工法	適用箇所数	使用した資機材	用途	単価	個数	金額（税込み）
1	女子畑 s s 排水ポンプレンタル	1	排水ポンプ	浸水復旧のため	¥48,000	1式	¥48,000
2	鉄塔敷地仮復旧用資材	6	ブルーシートほか	鉄塔敷地仮復旧のため	¥10,000	60個	¥600,000
3	鉄塔敷地仮復旧用資材	6	耐候性土のう袋	鉄塔敷地仮復旧のため	¥20,000	5個	¥100,000
4	鉄塔敷地仮復旧用資材	6	クレモノロープ 9mm	鉄塔敷地仮復旧のため	¥26,500	8個	¥212,000
5	鉄塔敷地防護	1	ブルーシート一式	鉄塔敷地ブルーシート敷設	¥428,000	1個	¥428,000
合計額							¥1,388,000



- 仮復旧を行った具体的な工法は以下の通り、排水ポンプによる浸水復旧とブルーシートによる鉄塔敷地仮復旧である。

【資機材（排水ポンプ）による浸水仮復旧の工法】

河川氾濫により、女子畑 s s 建屋内の地下に浸水、中継処理架室や制御盤室へ浸水する恐れがあったため、仮設排水ポンプによる屋外への排水を実施。



【資機材（ブルーシート）による鉄塔敷地仮復旧の工法】

鉄塔敷地周辺の崩壊面に雨水が流れ込まないようにブルーシートによる仮復旧を実施。（崩壊箇所の拡大防止が目的）
なお、シートが風により捲り上げないように鉄杭を設置後、ロープによる固縛、土嚢による押さえを実施。



広域総第 2021-96 号

2021 年 12 月 15 日

九州電力送配電株式会社

代表取締役

廣渡 健 殿

電力広域的運営推進機関

理事長 大山 力

災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について

2021 年 10 月 13 日付で受理致しました「九州エリア台風 9 号による被害に対する仮復旧費用（2021-06）」に関する災害等扶助交付金の申請について、業務規程第 176 条の 13 第 1 項に基づき、申請内容の精査を行い、業務規程第 176 条の 13 第 2 項に基づき、下記の通り交付金額を決定致しましたので通知致します。

記

1. 件名（案件番号）

九州エリア台風 9 号による被害に対する仮復旧費用（2021-06）

2. 交付金額

249,742,000 円

3. 交付決定日

2021 年 12 月 15 日

4. 交付金支払い日

2022 年 1 月末日

以上

広域総第 2021-97 号

2021 年 12 月 15 日

九州電力送配電株式会社

代表取締役

廣渡 健 殿

電力広域的運営推進機関

理事長 大山 力

災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について

2021 年 10 月 13 日付で受理致しました「九州エリア台風 10 号による被害に対する仮復旧費用（2021-07）」に関する災害等扶助交付金の申請について、業務規程第 176 条の 13 第 1 項に基づき、申請内容の精査を行い、業務規程第 176 条の 13 第 2 項に基づき、下記の通り交付金額を決定致しましたので通知致します。

記

1. 件名（案件番号）

九州エリア台風 10 号による被害に対する仮復旧費用（2021-07）

2. 交付金額

754,364,000 円

3. 交付決定日

2021 年 12 月 15 日

4. 交付金支払い日

上記 2. の交付金額が、災害等扶助拠出金の積立残高を超えるため、業務規程第 176 条の 14 第 2 項の規定に基づき、以下の通り支払う。

支払い日	支払い額	備考
(1) 2022年1月末日	534,645,000円	積立残高 相当
(2) 2022年度分災害等 扶助拠出金の納入完了 の翌月末	219,719,000円	交付金額 —(1)
合計	754,364,000円	

以上

2021年12月15日

九州電力送配電株式会社

代表取締役

廣渡 健 殿

電力広域的運営推進機関

理事長 大山 力

災害等扶助交付金の申請に関する交付金決定通知について

2021年10月13日付で受理致しました「九州エリア令和2年7月豪雨による被害に対する仮復旧費用（2021-8）」に関する災害等扶助交付金の申請について、業務規程第176条の13第1項に基づき、申請内容の精査を行い、業務規程第176条の13第2項に基づき、下記の通り交付金額を決定致しましたので通知致します。

記

1. 件名（案件番号）

九州エリア令和2年7月豪雨による被害に対する仮復旧費用
（2021-8）

2. 交付金額

704,253,000円

3. 交付決定日

2021年12月15日

4. 交付金支払い日

上記2.の交付金額が、災害等扶助拠出金の積立残高を超えるため、業務規程第176条の14第2項の規定に基づき、以下の通り支払う。

支払い日	支払い額	備考
(1) 2022年1月末日	—	積立残高 ゼロのため
(2) 2022年度災害等扶 助拠出金の納入完了の 翌月末	704,253,000円	交付金額 —(1)
合計	704,253,000円	

以上